

プロジェクトベースの学習

富山大学 名誉教授・学長特命補佐
成瀬喜則

世界の状況が変化

価値観が多様化

社会がグローバル化

問題を整理し、課題を見だし、
他者との連携によって解決していく
ことができる力を身につける

- 予測困難な時代
- 将来の変化を予測することが困難な時代を前に、子供たちには、現在と未来に向けて、自らの人生を拓いていくことが求められている
- 自らの生涯を生き抜く力を培っていくことが問われる中、新しい時代を生きる子供たちは生き抜く力を身につける



問題を整理し、課題を見だし、自らの力はもちろん、他者との連携によって解決していくことができる力を身につける必要がある

問題に向き合っていくために

3

- 児童・生徒はもちろんのこと、教師も一緒に考えていく
- 身につけなければならない知識や概念は何か、それらを有効に生かして課題の解決に向かうにはどうすれば良いか



プロジェクトベースの学習

(PBL : Project Based Learning)

教育学者ジョン・デューイやウィリアム・キルパトリック
の学習者理論をもとにして発展

プロジェクトベース学習（PBL）

4

PBLは教育現場や企業研修でも活用されているアクティブラーニングの手法のひとつ

チュートリアル型

- シナリオで示される問題
- 既知の知識・経験を基に新たな知識を主体的に学習
- 現実に近い状況を疑似体験できるような状況設定
- 比較的短時間で学習可能
- 教室内で課題解決が可能であり問題解決プロセスを練習できる

社会連携型

- 実際の社会で発生した課題
- 地域社会や学外組織と協働して問題解決能力を育成
- 実社会の現実的な課題に取り組む実践型学習
- 長期間の学習が必要
- コミュニケーション能力や課題解決力が身につく

探究学習と課題解決型学習（PBL）

- 設定された課題について、情報を整理し、収集し、分類・比較、分析を通して解決していく流れ
- これらの活動は1回で終了するものではなく、繰り返される
- PBLは社会課題を具体化したものに対して取り組み、解決案を考えたり、もの作りを通して提案したりする
- 調査、情報の分析、分析結果に基づく議論、結論の提案、プレゼンテーション

教員はファシリテーターあるいは支援者

6

- 学習者の相談役になったり、支援者になったりする
- グループを作って取り組む学習が効果的
- 多様な意見をまとめながら学習を進めることが重要



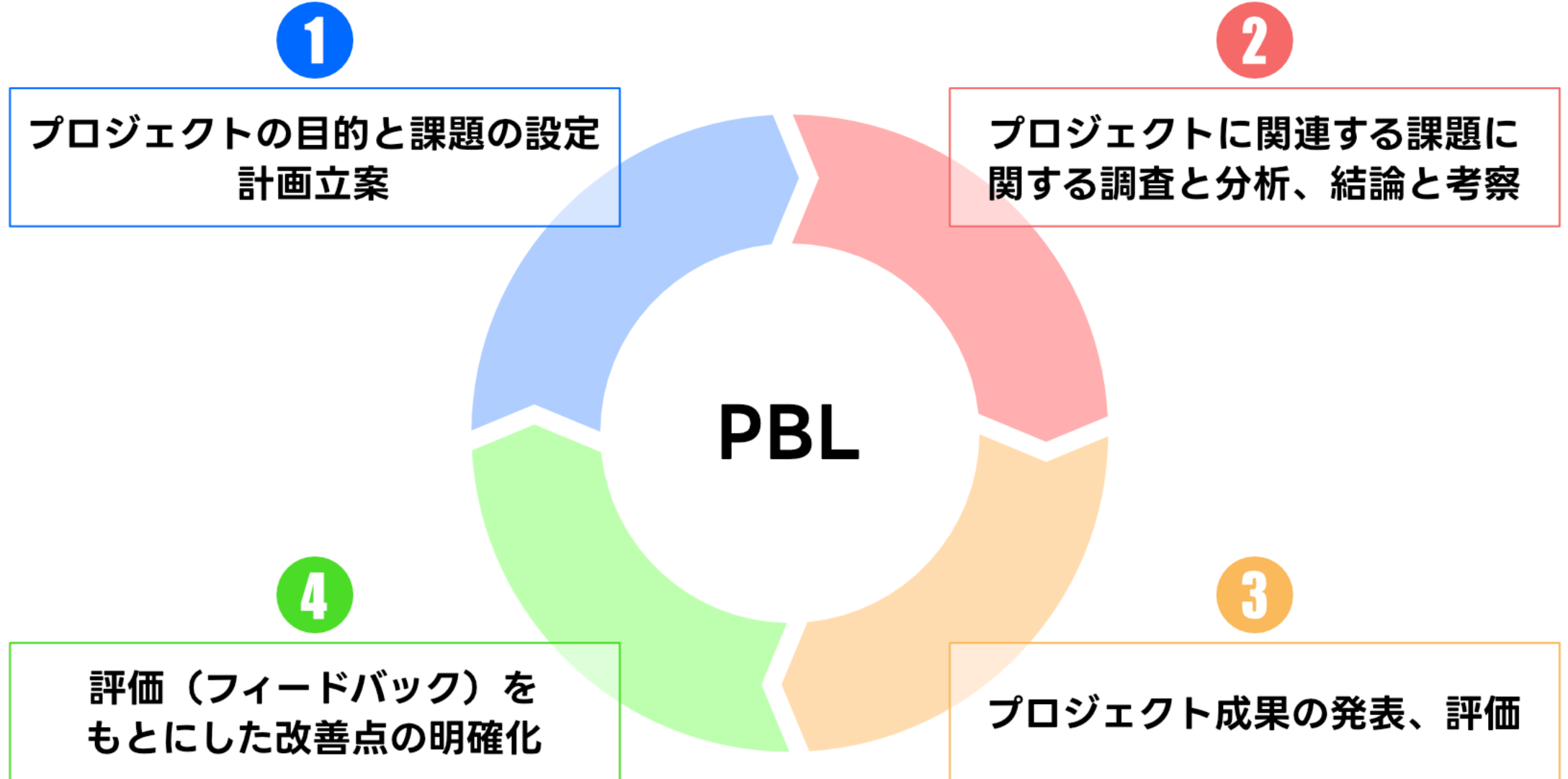
PBLは、学習者にとっても学習の見通しを立てることが容易



PBLは現在の教育において重要な役割を果たす学習方法の一つ

PBLの進め方

7



PBLの事例（中学校・高等学校・大学）

- PBLは、基本的に課題が明確にあることが必要
- 具体的な社会問題を取りあげてその解決策を考える形をとる
- プロジェクトの目的に応じて課題を決めることが必要
- あくまでも自分事としてとらえることができることが重要



大きなテーマ

「地域を理解して地域に貢献する」
「地域をよくすることを考える」



身近な課題

地域の良さを生かす仕事を見つける

地域の良さを生かす仕事を見つける

9

地域とは

生徒が居住している地域

「理解する」とは

地域の文化や伝統の良さや大切さを知る

生徒が取り組める課題

地域の良さを生かす仕事を見つける

PBLの進め方 → フォアキャストとバックキャストの2つの考え方

- 起業している若者や地域住民に聞きたいことを列挙して、インタビューの方法も含めて精査する
- 現地でインタビューし、その結果をグループワークで話し合い、重要なキーワードを抽出する
- キーワードの中から、解決策として有益なものを選び、それについて検討する

グルーピング

11

重要なワードをできるだけ列挙してグループ分けする

グループ1

支援

ビジョン

活発



地域を盛り上げようとする
雰囲気がある

グループ2

イベント

地域の理解



地域から理解が得られる

グループ3

ネット販売

協働事業



他分野と協働し、ネット販売
ができる

キーワードについて深く考える

例：地域理解（人と人との関係のあり方）

お互いに助け合って
生活している

人との距離が気にな
るときがある

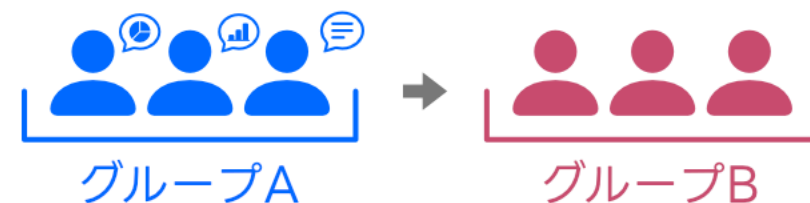
自分に合うと思える
仕事が見つからない



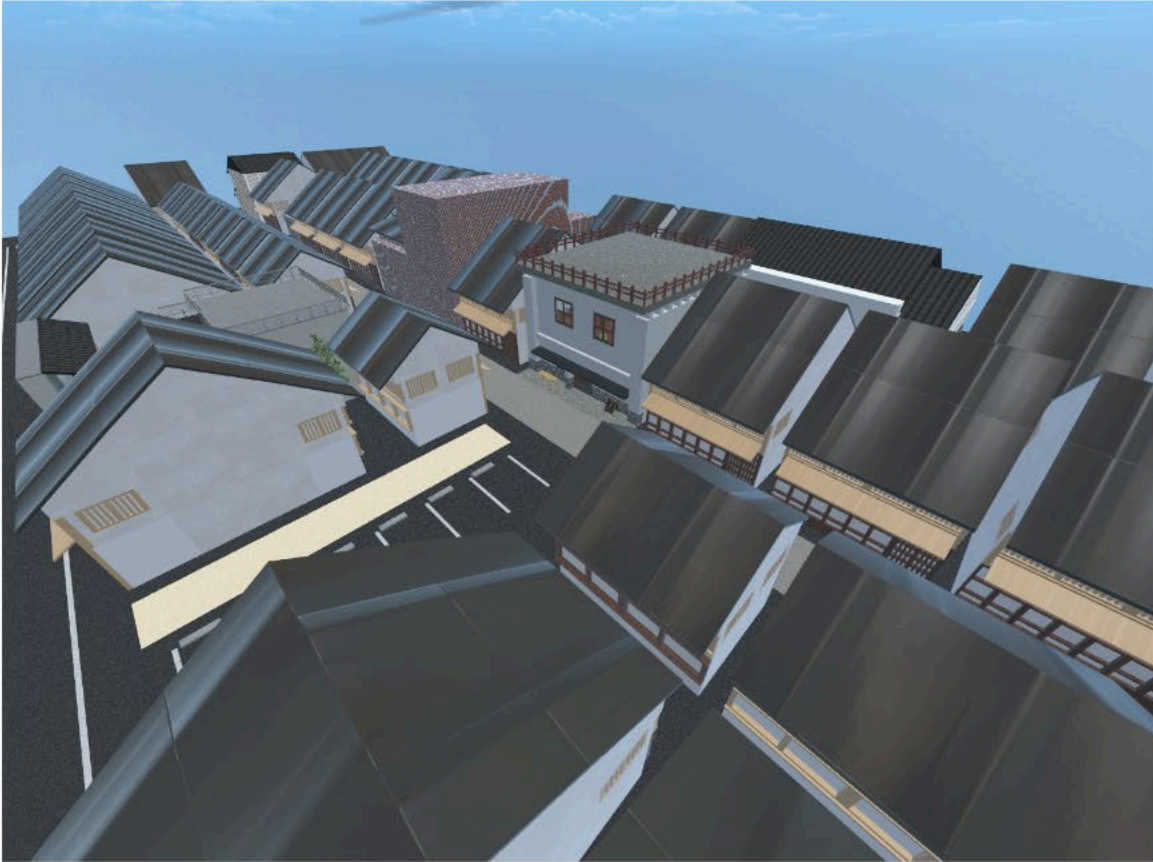
心地良い人と人との距離
感を考えた仕事作り

地元企業に関する情報を
若者に伝える

- ① グループワークによって課題を整理
- ↓
- ② 解決策について議論
- ↓
- ③ グループから他のグループに出向き、自分たちの考えを説明
- ↓
- ④ 自分たちの意見をまとめる



メタバースの町並み



- PBLは学校教育でも企業研修でも有効な学習方法
- 課題をしっかりと認識すること、客観的な分析方法を使ってデータを分析すること、他者が納得するような表現方法で伝えること
- 個人で考える場面、グループで協議する場面、振り返ってフィードバックする場面など必要

- 1 文部科学省（2024），中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（令和6年一部改訂）
https://www.mext.go.jp/content/20250213-mxt_kyoiku01-100002608_1.pdf（2025年11月8日参照）
- 2 文部科学省（2024），高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編（令和6年一部改訂）
https://www.mext.go.jp/content/20250213-mxt_kyoiku01-100002620_1.pdf（2025年11月8日参照）
- 3 長谷 守紘（2023），令和の時代における日本型学校教育の実際-コロナ禍における中学校での教育活動を通して-，岡崎女子大学紀要，第57号，pp.67-76
- 4 田蔵 奈緒（2023），アクティブ・ラーニング（active learning）の学習方法としてのPBL～日本の高等教育でのPBL学習法導入の考察～，東洋学園大学紀要，第31号，pp.244-259
- 5 文部科学省（2023），今 求められる力を高める 総合的な探究の時間の展開（高等学校編）
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/20230531-mxt_kyouiku_soutantebiki03_2.pdf
（2025年11月8日参照）
- 6 文部科学省（2018），地域との協働による高等学校教育改革の推進
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2018/11/19/1411060_04_1.pdf（2025年11月8日参照）
- 7 北陸ESD推進コンソーシアム（2020），北陸版SDGs・ESD実践ガイドブック
<https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/e1b45c110126053d50933fd115f64b6c.pdf>（2025年11月8日参照）